

# 政策分析シート（平成28年度）

<b>政策名</b>	子育てしやすいまちの形成	<b>政策No</b>	03	<b>部名</b>	子育て支援部		
				<b>部長名</b>	青山	<b>内線</b> 3810	
<b>関連部名</b>	区民生活部、健康部						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	Ⅱ 子育て教育都市					
<b>目的</b>	○すべての区民が安心して子育てができ、子育てに喜びと満足感が得られるような環境を整備する。						
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名 (5段階評価)</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		25年度	26年度	27年度			
	①	子どもの成長の実感度	4.10	4.29	4.23	お子さんが健やかに成長していると感じますか？	
	②	望む子育てができている実感度	3.09	3.20	3.21	自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？	
	③	家族の理解・協力度	4.04	4.07	4.10	あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？	
	④	子育て・教育環境の満足度	3.29	3.46	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？	
	⑤	地域の子育てへの理解・協力度	3.21	3.41	3.37	お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力しようとする雰囲気があると感じますか？	
⑥							
⑦							
<b>標</b>	<b>政策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み		
	①	地域子育て交流サロン設置数	12	14	14	14	
	②	保育所待機児数	37	8	48	164	「28年度見込み欄」は28年4月時点の数値を記載
	③	放課後子ども教室設置数	11	14	17	24	28年度までの全校開設を目指す
	④	育児不安をもつ親の割合（％）	19.8	21.3	24.3	—	0 乳幼児健診アンケートによる
	⑤	荒川区合計特殊出生率	1.30	1.34	—	—	—
⑥							
⑦							
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	○保育施設の入園希望をはじめとした様々な子育ての需要に対応し、また区民が質の高いサービスを楽しむことができるように、子育て支援策の量の拡充と併せて質の確保を図る必要がある。○子どもたちが生まれ育った家庭環境によって左右されることがなく、希望をもって健やかに成長していくことができるように、支援を必要とする様々な家庭に対する施策を充実させる必要がある。○増加傾向にある子どもの児童・虐待に係る相談に対応するため、迅速な対応やきめ細かな対応を可能とする環境を整備する必要がある。○全ての児童が保護者の就労に関わらず、放課後に安全に過ごす居場所を確保することにより、健やかに成長していくことができる環境を整備していくことが重要である。○荒川遊園の大型遊戯施設の経年劣化等に対応した改修が迫られている。○妊娠期から就学前までの親子の健康保持・増進を目指すために、各種健診や健康相談などの充実を図るとともに、小児初期救急医療体制を確保する必要がある。						
<b>今後の方向性</b>	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○荒川区子ども・子育て支援計画に基づく取組を推進するとともに、待機児童の解消に向けて、様々な手法を駆使し、必要な保育施設を整備する。また、就学前教育プログラムの活用を通して、質の向上に向けた取組を推進する。○ひとり親世帯の自立支援に向けて、家庭相談や就労支援の充実を図るとともに、子どもの居場所づくりを拡充するなど、総合的な貧困対策を進める。○児童相談所の早期の区移管に向け、関係機関との調整を図りながら全庁を挙げて取り組む。虐待の未然防止から児童の自立支援に至るまで、切れ目ない一貫した支援を可能とする体制を構築する。○放課後子ども教室と学童クラブを一体型で整備する放課後子ども総合プランの実施校を拡大し、小一の壁の解消と次代を担う人材の育成を図る。○28年5月にまとめた荒川遊園のあり方を踏まえ、大型遊戯施設の改修等を計画的に進める。○安心して子育てができる保健医療環境を整備し、親子の健康づくりを推進する。						

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	28年度設定	29年度設定	
子育て環境の整備	重点的に推進	重点的に推進	子どもを産み、育てたいと思えるような環境を整え、子どもの最善の利益の実現を目指す上で、重要な施策である。地域のつながりの中で親としての役割を發揮できるように、地域と一体となった支援策の構築に努めていく。
多様な子育て支援の展開	重点的に推進	重点的に推進	在宅育児家庭、共働き家庭等様々な生活状況の中で生じる子育て支援サービスへの多様なニーズに応える施策を展開することは極めて重要である。
ひとり親家庭等への支援	推進	推進	ひとり親家庭が自立して安定した生活を送ることができるよう、施策を推進していくことは重要である。
子どもの健康づくり支援	重点的に推進	重点的に推進	次世代を担う子どもの健全な育成は、社会の持続的発展に欠かせない。この施策は、乳幼児期の親子の健康を保持、増進することで子どもの健全な育成の一端を担うものであることから優先度は極めて高い。
小児医療の充実	推進	推進	次世代を担う子どもの疾病に対応するために、医療体制の整備は重要な施策である。若い保護者の要望を聞きながら、利用しやすい医療体制の充実を図る必要がある。